建築物のライフサイクルで脱炭素化

建築物LCA（ライフサイクルアセスメント）コンサルティングサービス

総コン

【建築物LCA（ライフサイクルアセスメント）とは】

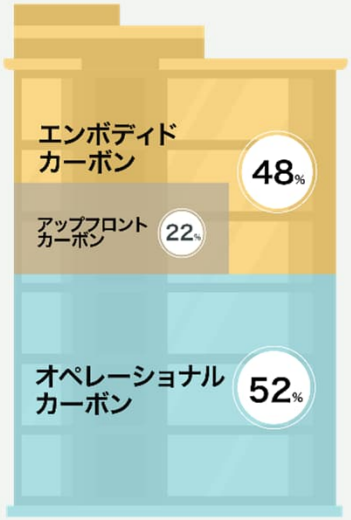
建築物を構成する各部材・設備の製造・施工・使用・解体に至るまでの建築物のライフサイクル全体において発生するカーボン（CO_2）を算定・評価するものです。近年、脱炭素化の動きの一環として、CO_2排出量の見える化が喫緊の課題として浮上しています。

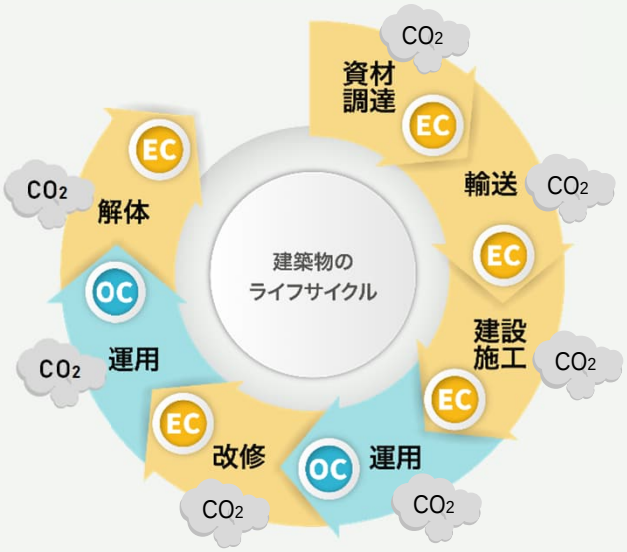
【ライフサイクルカーボン（$LCCO_2$）評価制度対応】

2028年4月より5,000㎡以上の新築・増改築のオフィスビルでは、$LCCO_2$算定結果の届出の義務化が決定されました。

建築物のライフサイクルカーボン構成イメージ

EC:エンボディドカーボン　OC:オペレーショナルカーボン





参考：脱炭素経営フォーラム2025年度国交省資料建築物のライフサイクルカーボン削減に向けた施策の動向

総合設備コンサルタントがご支援できるコンサルティングサービス

建築環境に精通した専門家が、設計段階における建築物の環境負荷の低減とエネルギー性能の最適化を支援します。

EC エンボディドカーボン
アップフロントカーボン

OC オペレーショナルカーボン

環境負荷低減建築設計支援
エンボディドカーボン算定
CO_2排出量の見える化をサポート

ZEB化・省エネ設計支援
ZEB化コンサルティング
省エネ計算を実施し運用をサポート

お気軽にご相談ください

お問合せはこちら

03-5453-3057

enecon@socon.co.jp

株式会社総合設備コンサルタント
環境・エネルギーソリューション部